

都市再生整備計画(第5回変更)

山田ルネサンスゾーン地区

三重県 伊勢市

平成22年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	三重県	市町村名	伊勢市	地区名	山田ルネサンスゾーン地区	面積	300 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

大目標: 美しさと賑わいを基調に、遷宮を契機とした観光文化と生活文化の再生

目標1: 外宮の鳥居前町にふわさしい「もてなし」をテーマとしたまちなか観光・交流の再興

目標2: 落ち着いた潤いのある生活環境の中で安心のある暮らしづくり

目標3: 市民が誇りをもってまちづくりに参加し、交流を促進するための体制や方法の構築

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・山田ルネサンスゾーン地区(伊勢市駅周辺地区を中心とする中心市街地の一部)は、伊勢神宮(外宮)の鳥居前町、都市圏の観光や生活の拠点として長い歴史と伝統をもっているが、モータリゼーションの進展や住宅・商業機能等の郊外立地化、大型店舗の撤退、及び伊勢神宮(内宮)のみへの参拝傾向により、衰退してきた。しかしながら、伊勢市駅、宇治山田駅、外宮前は伊勢志摩広域観光の玄関として観光機能、交通機能等を回復する必要があるとともに、歴史的環境を色濃く残す市街地は、市民の暮らしの場や観光客の散策の場として基盤整備や環境の向上が必要となっている。

・行政計画としては、市町村合併に向けた新市建設計画で市全体として「美し風起つ回帰新生都市」が将来像として位置づけられており、「新生「お伊勢さん」、活力あふれるまち」がテーマのひとつとなっている。当地区は、都市マスタープラン地域別構想において「伊勢都市圏の顔として様々な交流を生み出すまち」として位置づけられ、中心市街地商業等活性化基本計画では「もてなしの心を活かした伊勢らしい集客と交流」を目指すこととしている。また、三重県観光振興プランでは、「外宮前は神話・人・生活をキーワードとしたもてなし拠点としての魅力創出」がうたわれている。

・伊勢市駅南口から外宮までは約500mと、参道として適切な距離があり、これまでもコミュニティ道路化などの事業を行ってきたが、おはらい町・おかげ横丁にぎわう内宮周辺に比して、観光的魅力が不足し、まちなみ的美観や参拝客のもてなしなどについても改善の余地が大きい。さらに、駅前での大型店舗撤退後のビルや空地が当地区の空洞化を象徴しており、これらの土地や施設をまちづくりに効果的に活用することが必要とされている。

・一方、外宮は内宮とは異なる立地やたまたまの魅力があり、市街地には世古といわれる路地、民家等が多く存在し、勢田川等の水辺も重要な環境要素となっている。さらに御師とよばれる参拝客のガイド、もてなし文化もあり、これら大切に、まちづくりに活かすことで、大きな可能性を展望することができる。また、20年毎の伊勢神宮の遷宮(次回は平成25年)は、参道のまちづくりにとって大きな目標と契機になり得る。今後、団塊世代のリタイアが進むことにより、時間と経済力を持ち、知的好奇心の高い層が歴史、食、体験等にこだわりをもつ観光行動の主体となることが想定されるが、そのような観光需要に積極的に応えていくことが必要である。

・中心市街地では住民が高齢化するとともに、商店街の空洞化が進行し、市民生活の安心という面で問題が顕在化しつつある。人口減少時代におけるコンパクトな都市形成という観点も含めて、高齢者や子育て層などにとって便利で安心できる生活環境が求められている。

・伊勢市では当地区の都市再生の目標・方針を開かれた体制で検討するために都市再生大学校(都市機構が主催し、各地の学生が参集してまちづくりを提案)を誘致・開催し、その中で地元市民・小学生による市民学院や小学校まちづくり講座も実施した。同大学校では伊勢市駅周辺の衰退の問題と整備の重要性が強く認識され、当地区の歴史・文化・環境等を活かした形で、様々な夢のある提案がなされ、またその実現に向けた市民参加等の意識も共有されたところである。

課題

・伊勢市駅南口から外宮にかけての一带を中心市街地の核・中心軸として位置づけ、伊勢ならではの観光文化を再興する形で重点的に整備を行う必要がある。

・既に人口減少過程に入っている伊勢市では、郊外拡散型の都市構造を見直し、落ち着いた市街地環境を大切に街なか居住の場として、中心市街地における生活環境を改善していく必要がある。また、誰もが安心して楽しめる魅力あるまちとして、観光客・参拝客の身近な回遊・散策や市民との出会い・交流を促すような仕掛けを用意することも必要である。

・都市再生大学校等を契機にし、市民がまちづくりに持続的に参加し、かつ能動的に関与していくための組織・体制を構築する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

伊勢都市圏の顔として、様々な交流を生み出すまち(伊勢市都市マスタープラン地域別構想より)

・当面は伊勢市駅南口方面の重点的なまちづくりを進めることによって、鉄道の連続立体交差化、道路体系再編、シビックコア形成等の長期的な整備のみちすじをつくる。

・ハード整備による市街地構造の改編にあわせて、市民によるまちづくりマネージメント、観光客のもてなし、市民活動の育成等のソフト面の取り組みを進め、市民・観光客・都市圏民の交流の拠点としての機能と役割を着実に育てていく。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 外宮参拝者数	人/年	年間参拝者数	観光やもてなしのまちづくりの推進による効果を確認するため、現状では減少傾向にある外宮参拝者数を微増にまで立て直す。	138万	平成16年	170万	平成22年
2. 伊勢市駅周辺整備への満足度	—	市民アンケートによる「満足度」5段階評価(回答の平均値)	直近のアンケートでは伊勢市駅周辺整備の重要性は高いが、現状への満足度の評価は低い。観光客・市民の両方からの期待に応えるまちづくりにより、この評価を高める。	2.2	平成17年	2.6	平成22年
3. 生活環境の満足度	—	市民アンケートによる「満足度」5段階評価(回答の平均値)	直近のアンケートでは生活環境の満足度は3.0と決して低い数値ではないが、駅前の活性化と利便性が高まる相乗効果により、更なる満足度の向上を図る。	3.0	平成17年	3.4	平成22年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 伊勢の「顔」となる魅力・求心力のある駅前整備と観光まちづくり</p> <p>・伊勢の顔づくりとして、伊勢市駅南口の施設跡地と駅前広場を中心に、美しい駅前景観を創造し、観光客・参拝客のための情報機能、交通機能、滞在機能の整備とともに、伊勢観光の最初の目的地となるようなシンボル性と求心力をもつ観光交流機能を公民連携によって整備する。</p> <p>・行政、商業者、観光業者、市民が一丸となり、次の遷宮に向けたもてなしの方法を考え、具体的に取り組む。</p>	<p>駅前施設活用調査(提案事業:事業活用調査)、民間事業立ち上げ支援調査(提案事業:事業活用調査)、花と緑のまちづくり事業(提案事業:まちづくり活動推進事業)、電線類地中化事業(関連事業:県事業)、伊勢市駅南側広場整備事業(関連事業)、観光案内所整備事業(関連事業)</p> <p>まちそだて推進事業(提案事業:まちづくり活動推進事業)、花と緑のまちづくり事業(再掲)、神宮参道整備事業(関連事業:県事業)</p>
<p>・伊勢市駅と外宮との位置は、鳥居前町の参道として楽しんで歩行するのに理想的な約500mの距離であり、「駅－参道－外宮」という明確な関係を再構築する。</p>	<p>神宮参道整備事業(再掲)</p>
<p>整備方針2: 潤いのある安心で便利な暮らしを実現する生活環境の整備</p> <p>・安心して暮らせるまちづくりを目指し、市民生活にとって必要な基盤整備を進めるとともに、街なかで安心に暮らすための市民交流・生活支援施設等の整備を進める。また、防災機能の強化を図るため、災害時の避難ルートや空間を整備する。なお、奥新町公園、船江公園は、震災時の災害時指定避難場所に指定されており、その中でも『一次(緊急)避難場所』として指定されている。</p> <p>・歩いてふれあうまちづくりを目指し、市民の散策、観光客の回遊などのための道路や公園の整備を進め、市民の健康増進、自動車依存からの脱却、市民・観光客の出会い・交流を図るために、きめ細かな魅力をもち、かつバリアフリー指向の歩行者のためのルートや空間を整備する。</p> <p>・「訪れる人々をもてなす緑のまち」を具体化することを目的とした伊勢市緑の基本計画に掲げる緑化重点地区を中心に緑化促進を図る。</p>	<p>道路改良事業(基幹事業:道路)、公園事業(基幹事業:公園)、駅周辺施設活用調査(再掲)、子育て支援センター・保育所整備事業(提案事業:地域創造支援事業)、流域関連伊勢市公共下水道事業(関連事業)、山田赤十字病院新築移転(関連事業:民間)</p> <p>道路改良事業(再掲)、ユニバーサルデザインの公園事業(基幹事業:公園)、地域交通支援事業(提案事業:地域創造支援事業)、花と緑のまちづくり事業(再掲)、電線類地中化事業(再掲)</p> <p>花と緑のまちづくり事業(再掲)</p>
<p>整備方針3: 市民主体によるまちそだての推進</p> <p>・まちづくり活動推進事業として、関連する市民活動団体等と連携しながら、市民主体で様々なまちづくり活動をマネジメントするための組織・体制を確立する。</p> <p>・都市再生大学校(市民学院)等の成果と経験を持続的に活かし、市民がまちづくりに能動的に参加し、力を発揮するNPO等の市民活動を促進するための体制や方法及び環境を確立する。また、真の「市民自治」を実現するための活動を支援する。</p>	<p>まちそだて推進事業(再掲)、まちづくり計画推進事業(提案事業:事業活用調査)</p> <p>まちそだて推進事業(再掲)</p>
<p>その他</p> <p>【市民参加で策定した都市マスタープランに基づくまちづくり】</p> <p>・都市マスタープラン策定に際して、市民ワークショップ手法により構想づくりを進めている。山田ルネサンスゾーン地区を含む地区についても、地域別構想の中で多くの住民の意見を得た構想を策定済みであり、都市マスタープランに基づいたまちづくり施策を展開中である。</p> <p>【観光交流空間づくり】</p> <p>・観光交流空間づくりモデル事業(平成15年度採択)として、かつて毎年8月1日にお参りしたという八朔参宮の伝統を受け継いで伊勢らしい夏の風情を楽しむ「外宮さんゆかたで千人お参り」や、伊勢の地場産品などのPRや卸売を行う「伊勢楽市」の事業などを支援し、心の豊かさ・ゆとり・癒しを求める多様な楽しみの創造を演出する快適空間づくりを、各関係機関が連携を密にし、協働することにより「癒しの空間」の形成事業を推進している。</p> <p>【空間快適性向上の取り組み】</p> <p>・三重県策定の「伊勢志摩空間快適性向上整備計画」に基づき、地域独自の歴史を活かしたまちづくりの推進のため、市民意見を取り入れたサイン・案内板の整備を進めるなど、市民、三重県、伊勢市の協働で外宮前地区・河崎問屋街地区の空間快適性向上のための事業を推進した。</p>	

交付対象事業等一覧表

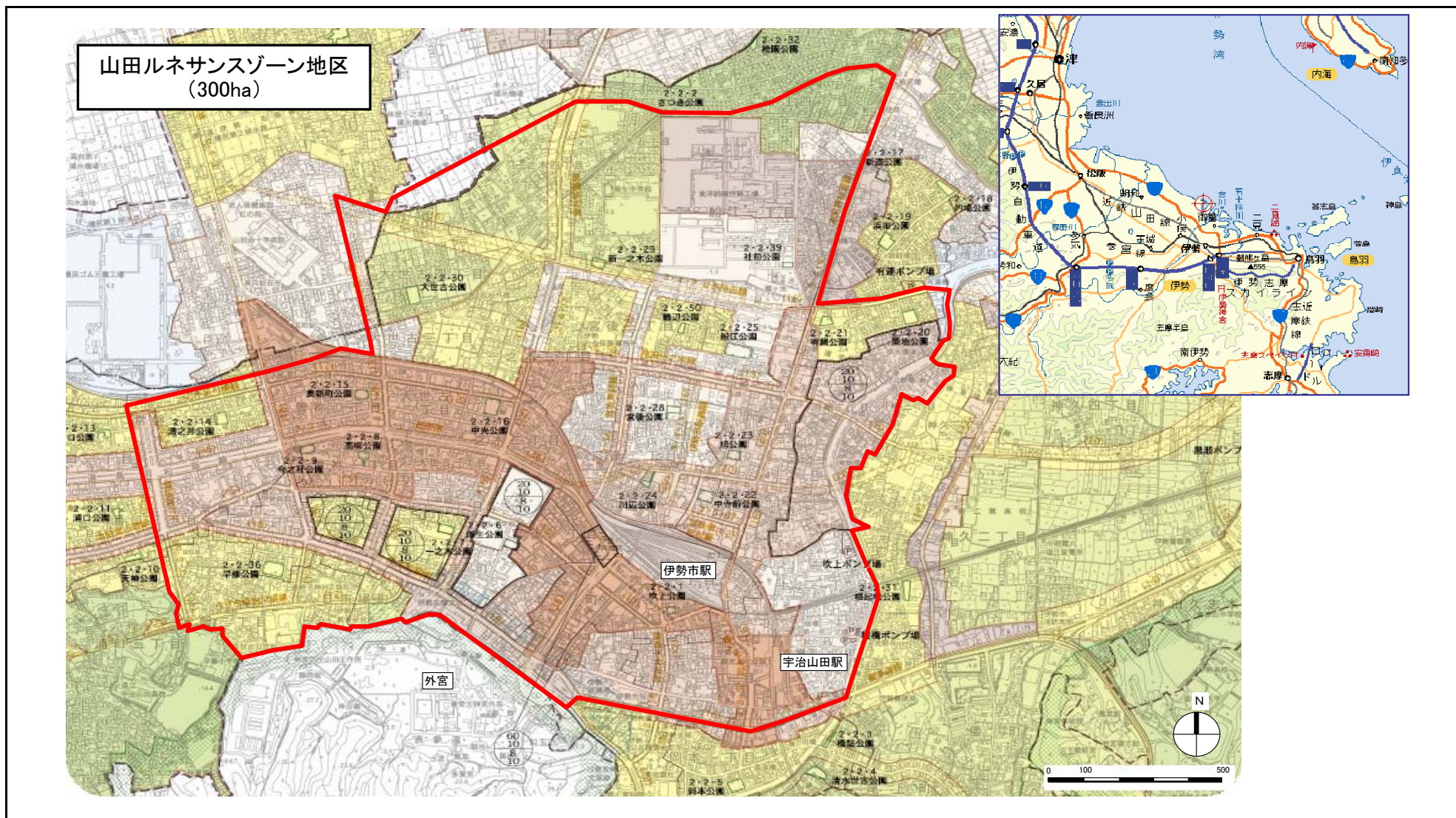
交付対象事業費	2,590	交付限度額	1,037	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
														事業
道路	地方道	一之木宮川橋線	伊勢市	直	L=1,300m	H18	H21	H18	H21	92.8	92.8	92.8	92.8	
	地方道	神田一之木線	伊勢市	直	L=700m	H18	H22	H18	H22	65.2	65.2	65.2	65.2	
	地方道	宮後東紡線	伊勢市	直	L=500m	H18	H19	H18	H19	22.5	22.5	22.5	22.5	
	地方道	本町宮後線	伊勢市	直	L=140m	H18	H18	H18	H18	42.8	42.8	42.8	42.8	
	地方道	河崎本通り(宮後船江線)	伊勢市	直	L=370m	H18	H19	H18	H19	46.8	46.8	46.8	46.8	
	街路	日赤神田線	伊勢市	直	L=600m	H19	H22	H19	H22	1,043.7	1,043.7	1,043.7	1,043.7	
	地方道	日赤東紡線	伊勢市	直	L=650m	H19	H19	H19	H19	252.1	252.1	252.1	252.1	
	地方道	宮後東紡線	伊勢市	直	L=75m	H19	H21	H19	H21	130.3	130.3	130.3	130.3	
	地方道	日赤神田線	伊勢市	直	L=330m	H21	H22	H21	H22	47.3	47.3	47.3	47.3	
	地方道	北口線	伊勢市	直	L=130m	H21	H22	H21	H22	48.9	48.9	48.9	48.9	
	地方道	本町2号線	伊勢市	直	L=210m	H21	H22	H21	H22	109.4	109.4	109.4	109.4	
	-	-	奥新町公園	伊勢市	直	A=1,100㎡	H19	H19	H19	H19	9.3	9.3	9.3	9.3
	-	-	吹上公園	伊勢市	直	A=500㎡	H18	H18	H18	H18	9.4	9.4	9.4	9.4
	-	-	有頼公園	伊勢市	直	A=800㎡	H19	H19	H19	H19	6.9	6.9	6.9	6.9
-	-	船江公園	伊勢市	直	A=2,700㎡	H18	H20	H18	H20	13.1	13.1	13.1	13.1	
-	-	今之社公園	伊勢市	直	A=900㎡	H18	H18	H18	H18	13.6	13.6	13.6	13.6	
-	-	宮後公園	伊勢市	直	A=1,500㎡	H18	H19	H18	H19	74.5	74.5	74.5	74.5	
-	-	清之井公園	伊勢市	直	A=1,100㎡	H18	H19	H18	H19	6.6	6.6	6.6	6.6	
-	-	鶴辺公園	伊勢市	直	A=500㎡	H19	H20	H19	H20	6.3	6.3	6.3	6.3	
-	-	川辺公園	伊勢市	直	A=500㎡	H19	H20	H19	H20	6.8	6.8	6.8	6.8	
-	-	社前公園	伊勢市	直	A=500㎡	H21	H21	H21	H21	8.9	8.9	8.9	8.9	
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,057.2	2,057.2	2,057.2	2,057.2	

都市再生整備計画の区域

山田ルネサンスゾーン地区(三重県伊勢市)	面積	300 ha	区域	吹上一丁目・二丁目、河崎一丁目・二丁目、船江一丁目、本町、宮後一丁目・二丁目・三丁目、一之木一丁目・二丁目・三丁目、一志町、八日市場町、大世古一丁目・二丁目・四丁目、曾祢一丁目、宮町一丁目、常盤二丁目、常盤二丁目、常盤一丁目・二丁目、河崎三丁目、船江一丁目・四丁目、一之木四丁目・五丁目、大世古三丁目、曾祢二丁目、宮町二丁目、常盤一丁目・三丁目、浦口二丁目・三丁目、御園町高向の一部
----------------------	----	--------	----	---



やまだ ちく いせし
山田ルネサンスゾーン地区（三重県伊勢市）整備方針概要図

目標	美しさと賑わいを基調に、遷宮を契機とした観光文化と生活文化の再生	代表的な指標	外宮参拝者数	人/年	138万	(H16年度)	→	170万	(H22年度)
			伊勢市駅周辺整備への満足度	5段階評価	2.2	(H17年度)	→	2.6	(H22年度)
			生活環境の満足度	5段階評価	3.0	(H17年度)	→	3.4	(H22年度)

